日本局は對策講究中

が、能力を表示した。 を理解との変化をなるする。 を理解との変化を表示した。 を理解との変化を表示した。 を理解との変化を表示した。 を理解との変化を表示した。 を表示した。 を表示し。 を表示した。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示。

新局長に白錫澤氏

接收後

に社員の福祉の増進に

の三箇條を打電することに決

滿洲國參議

駐支公使

更迭發表

後任は武鞭の通り有古大使に正要の外に東京二十六日の定機艦部で之野が二十六日の定機艦部で之間を選ぶると常分離後の関東京二十六日教』南光公使の「東京二十六日教」南光公使の

官制は特に變更を加へず現行の権です

指揮監督を受け、

歸朝命令

71

譲步勸告

漸緩の懲戒委員會は利けに引つゞ

大綱決定

蚊とりには

王様!

イマッの

蚊取線香を

**今津化學研究所** 

にて開催十一時代まで解析した一定その他の重要々目を含んである廿六日午前九時より作中委員長 今次の政形中には既行機議制の股

満蒙の戦慄®

直木三十五作

な、インチキだかられ」

先づ家庭害虫

夏の衛生

滿鐵懲戒規定

良顧問ド氏から

ル開き解決の激思なき 議に依らず日、浦、支

ことが回答を求めた一める事さなる模様で

を越えて

を非公式に参加させて 変形脈に譲歩を動管し 変形脈に譲歩を動管し

る もので南京側は事の重大性に鑑みる もので南京側は事の重大性に鑑み 一二十六日を斯も原山で郡介郡、林 一部高骨輪を開き態度決定後、独橋、 「羅高骨輪を開き態度決定後、独橋、 「一本日を斯と原山で郡介郡、林

制

嚴重な陣

**加國政府撤去方抗議せん** 

地を構築

で、一人の好に云った。 を、服よせて で、服よせて で、服よせて で、服よせて で、服よせて で、服よせて で、服よせて で、服よせて で、服よせて で、服よせて で、のがに云った。

「あら、置下、妻のお尻を見わかりやしないよ」

「看なざ、尻の毛を被かれたつて

傳染病の像防に

努めませう

を退治し

こた、女給は、解なすくめて、配った、女給は、解なすくめて、美心が、手を延す

**个津佛國理學博士發明** 

イマツ蠅取粉を

使用するに限る

手が前へ突出して

事務は當分の中、從來通り漸級なして之を行はしむ

その部員たして特命全権大使の簡単か業れらむを得

官、陽東長官及び滿洲派造臨時特命全權大使は事實上同一人を以つてこれに完全な系統一の促進を期と差常り現行政治運用により左記委項に基さ暫定的事務統一を関るものさす

首相参内、御裁可を仰が

ハル二十五日養」満洲里方

たのでせう。明生さ

ますから、一つ、變つてもいくで

にはかりでなく

んぢやなかった」

間浦州里方面の政浦 行機配置

熱河省境へ 學良軍移動了る

洲国内へ進入したか否かは明でない。 湯玉麟は進退兩難 | 季|| 演使節 | 同上來連

▼ニを物あり是非イマツご御指定を▲

學學

わけなく全滅

虫でも

承認

河にある郷玉属軍は蒙古に同り約五萬集結された 雄氏(関東郷地方課長)

旨非公式に報告、各開館果職なく之を承認した【嘉典は武農大將】『東京二十六日皇王董報』滿冊派遣昭時将命全権大使に489首3

その他手續上臨時特派全權大使の正式任命をみるのは大體八月五、六日頃を膨脹されてゐて正式に決定した、而してこれが實施に関しては堪下の漢案情勢に懸み成るべく速かに實現したい方針であるが、陸軍定

「新京に設置

六日發】滿洲四頭政治統一實施は陸軍義動、關東長官の暴動その他動令家等多少の準

田子秋氏(海軍中尉) 同上極連正平氏(大連病院) 同上極連 氏(相撲協會年常) 二十六 嚴壓氏(歩兵大尉) 同上 是三氏(歩兵大尉) 同上 原上(歩兵大尉) 同上 五郎氏(代議士) 同上來

大津商會に

軍費借飲

▲山分氏(和) 日うすりい丸にて神戸( ・ 日等者太郎氏 同主 ・ 一六日午前九時長春( ・ 一六日午前九時長春( ・ 一六日午前九時長春( ・ 一六日午前九時長春( ・ 一六日午前九時長春( ・ 一十六日午前九時長春(

▲品田直知氏(大連市會議員)同の處二十六日朝編連 ▲岡野勇氏(大連市助役)赴奉中

を最し各特徴は基率とつ、あり火 しもの、ごさく學良は在北安各特 しもの、ごさく學良は在北安各特 ともの、ごさく學良は在北安各特 との、ごさく學良は在北安各特

20年 おうくさ決定。 の年 着の総一案、教師

▲大垣研氏C滿盤計理部主計課長)

早業こそ政府近來の大出來。電光行火、呼ッさいふ聞もなき 候さへ恐らく三舎を避けん。

中に奪りまクーへの水道驚視。 「極しいでせう」 なべ恐らく三雪を避けん。 「何んさかならんさ腹壁ですな」 が、青泉の鰤へかけて が、青泉の鰤へかけて

一個表を除き約二千五百名あり、その内側四部は南方人でそれ等は大いので、これ等に対しては二十六四で、これ等に対しては二十六四で、これ等に対しては二十六四で、これ等に対しては二十六四で、これ等に対しては二十六四で、これ等に対していが多数人に対している。

「低いつてゐるのは、無難社ばか 大地脈がくるこ、懸ふんですよ」りだ。いゝ聴露をして、整葉就は 「何ういふ暖飯?」「無かつてゐるのは、新職社ばか 大地脈がくるこ、懸ふんですよ」「「をりや、來てみないさ如らない

丸久ウド

都職口屋の中に「農室育ち」の新浦線建裁各方面に好評、但し

從業員

肛會の公器破壊

**滿洲國々務院聲明** 

大橋外変次長

降り頼る雨は二年間使い遊せり

関也、簡単分に降いても大きい。院水さなり、英操顕微二百八十萬

猛練習を重ねる奉中軍

合宿

天を聞いて毎日物港に納智を置け

朝を争ふ

中等

滿洲

豫

城は日一日で擴大されてゐるさ

ざ船員眞性と決定

市場四屬水散宿止

危險極る興安嶺一帶

死骸を高級

て遺棄

製組合ダンスホール耐糖は解説に を削つて輸び触網な離れた大連三 を削って輸び触網な離れた大連三

検番ホー

り途に反野派の急先鋒たる組合権・

粉料解決

署長の調停で

監視網や張り

船員四名隔離

。 に入つた懐wによれば次の知き東 り推薦なる が起こ者は百三十名以 したが他に十五日 したが他に十五日 したが他に十五日 とだが他に十五日 に連口の英級不 人に連川の英級不 人に連川の英級不 人に連川の英級不 とたが他に十五日 に変別の大人 に変別の に変別の大人 に変別の に変別の

名の患者を養生したため関係筋で 一清鬼無組織は中村松吉が運営コー清鬼無組織は中村松吉が運営コー清鬼無組織は中村松吉が運営コールラミ決定したので同組乗組織美 大連少年團

大會に出場する大連滿術俱樂都
一年度の大會はチーム数が十六に
主催の第六個全日本都市野流野・中澤清保監督に除る
「一門元献よく一路耕椒目差」
「一門元献よく一路耕椒目差」
「一門元献よく一路耕椒目差」
「一門元献よく一路耕椒目差」 雨中に盛んな見送り

時間五斗五升

の豪雨

機会協製造法の進步に就て 特末 東生 質岩積さ大豆滴さの應用に顕 する研究方法 田中 芳雄 網会場に於ける管解特製の問 動山 富人

でまじまり複数 佐藤 正典 の概念を興く十一時半開青した 松井元太郎

鰻蒲燒·丼·吸物付

一圓五十錢小

き

始めまし

氣持ちの好い新築の客間、自慢の味樂世界 美人の仲居のサーガスせひ一度御試食を

の短く行はれ、多転職衆に多いな後七時より協和實際におい

節劇王阪東多門

**一業化學講演** 

納凉

世七日よ

IJ

工用うなぎ

コレラの榮町に浸水

満洲の育選工業 で
順温

**帰優待券**關

本恭一等席二十錢

設備あり

御會料理席

元利根川

派送町電五六五五番

大連劇場

のた、なは市中に於ける被察は があつた、なは市中に於ける被察は に火災を繋げ電給二な吹き飛ばし

鹿兒島鍼灸療院

愛媛縣視察團

tro 西村旅館

一拍判、

御散歩の節は是非細立寄下さいませ男女靴各種豊富に取揃へてありますから

雪西亚毛皮賀易高金

ブリイ

殿然型店內在品豊富

青技者なき方の手荷物の側世話・・・ 連州御崎村の――被職手報に解喩迅速 宿泊料 一 画より

からで 神戸市柴町三丁目 村

が一般に変われる。

支店 滇蓮町二丁目(天富家県)

新古自動車の賣買は

洋

靴ブリイマ靴部新設

旅大道路浸水 小學校の教諭、調郷専門十七名の変媛顕教育會主催賦下各中等學校

資生流の辰巳 気製作級

御旅行用として各種豊富に取揃 これのいかは、 これには、 これのは、 これのは、 はいのいは、 というのは、 これのいかが、 これのには、 これのにはいには、 これのには、 これのには、 これのには、 これのには、 これのには、 これのには、 これのには、 これのには、 これのには、 これのには、

夏支那服地新柄豐富着荷

洪來盛吴服店



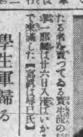




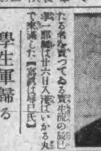


虎疫流行地にこの濁流 けさの祭町







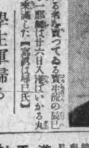


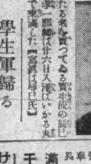














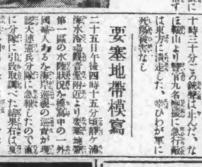




### び送る舞踊の夕 今夜協和會館で 主催滿 日 婦

警察室室 (素なく) は 苦労人が感服

流俱ナインと少年回の出發



素みたて自三日後十個三十三銭<自慢の

京日後十個二十五錢 十五錢

タタタタ東京京 七四三三二十四 十四十 鎌銭銭銭銭銭銭



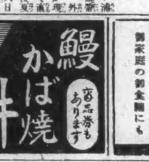






○九番









危険に瀕す

ありまずから大いに戦かここで 居りまずから大いに戦かここで という。

B





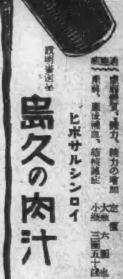


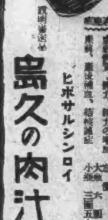


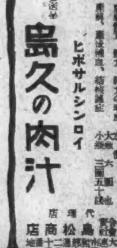






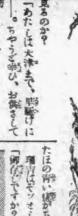






## から皆様





たほの静い機がち

「神信じですか?その侍は幕府の相当はぞりさした。

日

でレーニ(レーニ・フエンスター)を観察を繋えるめるものがある。

◆順に体験される日活登録服







法療。化文代近世為進步 が者用愛萬十二機本き如る滴の血讀 ! 鱅病闘大の前空るす白告に共涙酵々言

者弱核全るさ示は針指の病征讃 (す送急代無第大込申御)む粛を讀必に人庭家の凡に並 **イー治療機で台生** 紫を有し幾多名士博士に推奨された 他一切の難病痼疾に惱む方は 豪闘、婦人病、泌尿器病、性病其神經痛、リウマチス、 抑氣、神経

ざんな難病もメ

倘詳細は八月上旬に發表致します

大連連鎖街本町通滿電バ

ス裏

果がわかる

徽 四、絶對に危險がない 五い手足局所を汚さない 大、使ひ方が極めてする 自分の病氣を自分で治療

使ひ方が極めて簡單な 日僅か四五厘

連市西公園町五五 商 會 五八二四番

大

あざの女(十三) 動さ気の眼がぶつかる。 数は目離した。かれは暗い

かれは暗い

弓之助を焼に、二三歩はな

分で概な張って待ってますからし

CURIOU: Shop

國

なつてあた。

供の姿はいつの間にか消えてな

類々たる大衆な同性と(戦消視系などを) を主編成三眼氏は端、囃子狂言の がなれる大衆な同性と(戦消視系など) 能樂大會 協和會館で 州一日に

条川軍隊船間のため来消するので 觀世流名家 不開磨頭、金尾小三郎、

動の吸軟作用が能んで養分を悉く血液中に吸収さ

なければ何等滋養さはならないのである。



のである。持さんは少さい質などが直ぐ治るのな柳水知でせう。あれば自己原能作用で作用以外に自血球の増殖作用が旺んに行はれて。額面な蝦滅もてしまふから帰何なる病で全細胞が活動的になるので、血液中に振り入れた養分な悪く漿養化するのである。なな電極の素熱さが入験に作用えて賦でも血行が旺盛になる。それさせもに電流さ素熱の

治療機を使べば既に表情な電池さくこの電流は場特のもので變電装置に特許か有る

液の循環が旺んになる

電景治療は、新陳代謝を旺盛にするから之を常用す作用の旺んな人程治療が早い誰である。

る人は何にならないし、

銀幕に

你味溢る 一名畵

「征空大襲撃」の痛快味と

◆「避棄珍しい職者的味識だ」 スキー、ジャンプの対決さに刺

「白銀の亂舞」の壮快味

家

一賽是非常備の理由 だ。要するにこの萬載的な治験機を知らないからである。 助からないさか云つて願いで居るが、助かるも助からないもない。 は世界等の恐るべき何もイー 機の治療で脳迷す 校明は七割死のさか(之は事質だ)

の種々相 **職長も絶對に治らないさ云ふカリエスも本権の使用で立派に** 本機は敷明以來既に十五年その間不断の研究によ 此の機械を使用し出してからは五合の酒で快 るのは朝飯剤さいひたいくら

特許権を移)治療の質例は滞山あるが之を一々挙げてゐては際院ないから黙す

カリエス、

骨膜炎胃腸病、

して、 暑中御伺 申上ます

ます し大々 般御來客樣の御指導と御督勵を仰ぎま 弊店今回技術員の技倆獎勵の為 的御奉仕申上度き存念で御座る 技術員八名の人氣投票を決行致 8

技倆、 只今より 名なり番號な 各位様の御氣 いまし 就きまし T 御願申 ヴィ T は、 りを御投票下 A に召しました技術員の姓 期限 ス等を御試し置き下 上ます 只今 VZ 至りました際 より各技術員 3 ます 0 VZ

話玉

3 西によく 屋全 市内外に事ら評判の

イー治療機を語る

神經痛

家庭に一臺は必ず常用せよ! 一两會實驗部 小 笠

んな病気 氣に効くか? 原

淳

録こら致く の治療機を常用なさつてゐる家庭は。病氣に對す 質に素晴らしい効果をもつてゐる ない「優か一意の機械

ごんな病

E

で全家態の健康が保証されてゐるやうなものだる」だからこの治療機を世界なさつてゐる家庭は、病氣

はず手六枚封入原會ラセフ 一打四拾七姓(送科共)拾打以上四拾五銭(送科共)見本三 通品です。柳豐になれば本品の質價が分別ます。 第一個では、一個一個の美しい値です。紳士柳野人には好男女老切を開はず富人 南の美しい値です。紳士柳野人には好

能んで後すときします。1 男 | 男 | 男 | た場合の話で、夢な飲んで摘化をついて増化をすだけのここで脳の吸収作用が之に伴ばなければ何にもならる。而も年ら之ばイー治療機が解消した場合の話で、夢な飲んで摘化を 「用で養分が会解與液中に取入られるから、食べたものに無駄がなく悉く 増工を受けるとします。1 男 | 男 | 男 | 別 た 透光にする。故に食物の溶化がよ

科 借九六八七誌書 豫





寫真 韶

1

わから単なる移民會社ではい

大語に近づいた。

||市場問題||

さて落着くところは

如何なる方式でやっても自

あば、新都で打合せので 地は、被称都の所管事項

沢(井木丁)

低資の融通要望に

さ非常な成績を示してゐる、故で襲つたが、公寨の結果か見るで襲ったが、公寨の結果か見る

各商議の意見一致 來月大連で聯合會

工業生產額激減

大連管內工月生產額

奉天工業用地は 九月頃貸下 地方、鐵道兩部の移轉も研究

にれなの決勝女は海域本社にも強い 「「」なる回答文を送るからない。 「関と清級に避勝文を送ることを決さいていて早速行合せをとげるこ が、本天献工會議が大き送ることを決さいなってあるが、本天献工會議 が、本天献工會議が、本天献工會議が が、本天献工會議が、本天献工會議が が、本天献工會議が

滿鐵當局の意向

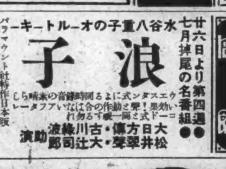
如何、なる回答文を送るかの他の答工製に於ては何れも多少、十九萬九千五百六十九圓た瀨源は、なってゐるが、梨天蘭工食職とて前月に此ら九十六萬二千四百、萬四千二百十三圓た瀬源とてゐるについて旱速行合せをさげる。 四百六十一萬九千九百六十九圓に 七十四圓にらて前月に此ら八十四について旱速行合せをさげる。 四百六十一萬九千九百六十九圓に 七十四圓にらて前月に此ら八十四

が大きついたさころで服全た出る

三三羊商行

大 満鐵株絶好の御買入時!!

い切り



廖

日の出前 株三四郎・川島奈美子…主演 資保た張く守るために妻は男 な祭でた…併し天の疑惑の目 は?

はよこで音楽の流列権を 関田静江・里見明 同田静江・里見明

世五日八十錢

東和商事提供・ 一日公開

満鐵の社債募集 今秋は尚有利に

印織別内課を

及んだが廿六日演路帰住同日出社 高製經典部主訓課長大垣配氏は社 大垣主計課長歸來談 十六萬三千首 特產

場閑散 

爲替市

手形交換高(中六日) 全 〈光秋 川で間「治穴側

大重面鱼 院

語糸小聢り 高の一高筒替四分の一高な入れ常市の一高筒替四分の一高を発回分の一高な入れ常市は砂栗保合に領東深く引売領配は 現物三十二綾五原八月三十銭八原 九月二十九銭十月、十一月二十八 株八川賣唱へであった

麻袋弱保合

大連埠頭到著高 一 豆粕 二車 高梁 二車 高梁 二車 高梁 二

お洒落狂女☆

より三田間のの

第三回

展 号道 号变 子的00

今晩の催しもの



東活時代特化 大川長三郎・単見明・主 大川長三郎・単見明・主 大川長三郎・単見明・主 大川長三郎・単見明・主 大川長三郎・単見明・主 大川長三郎・単見明・主 大川長三郎・単見明・主

月形半平太

對する吾人の希望

かられるなりた

際、世界文明國の常線に基調な置

るさ巻へる。 華家銀行は中央に一大中央養家銀行に放て分類をかませんとで、中央銀行に放て分類家を養付していまった。

滿蒙維新の大業完成に

教練事館用代領事は外務省の師 「「お歌は北平及び橋沙より子裏忠」の臨同行動を触れて全然獲自の歌 「監修を目的さするローザンヌ會議を動したが長前は密行の上は「一般が問題を経済に繋ばせらめ」「モスクワニ十五日養」ボーランス、ルーマニャさの愛恋、軍機優邀、世界総派を設したが長前は密行の上は「一般が問題を経済に繋ばせらめ」「モスクワニカー、「大人中」が一定における熱沙軍の不泥行跡は縦び、「大人中」が一方とは、「大人中」が一方とは、「大人中」が一方とは、「大人中」が一方とは、「大人中」が一方とは、「大人中」が一方とは、「大人中」が一方とは、「大人中」が一方とは、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっては、「大人中」が一方といっている。「大人中」が一方といっている。「大人中」が一方といっている。「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が一方というなど、「大人中」が「大人中」が一方というなど、「大人中」が「大人神」が「大人中」が

五日發】來之

フランスは反對

月二十三日のジュネーて開かれるもので、日英米間には「東側の軍艇會議院艦」の一般プログラムを観察し得るが見るの軍艇會議院艦」の一般プログラムを観察し得るが日後、東省の第二級に募予軍権

山岡長官の

優遇方法を考慮

關東軍顧問に任命か

熱河義勇軍の

總司令に王以哲

東京二十六日務』 滿洲四頭政治 明命会により来月五日鰺京する ・ 東京二十六日務』 滿洲四頭政治 明命会により来月五日鰺京する

學良軍の

可侵條約 「東京二十六日費」東南着電によ一張行動にて無明を宿つたことは順 が後男車線印金に起催された を離立さたとなったは後晩額取ける。なは様貌取ける。 でルーマニヤケ除きその西臓機邦 でルーマニヤケ除きその西臓機邦 でルーマニヤケ除きその西臓機邦 でルーマニヤケ除きその西臓機邦 でルーマニヤケ を動きる。なは様貌取ける。

表定する事主なつた、政職大粋が | 一様に推さるべきは確實であるが若と覧して統一最初の司令官を | となるべく命之が實現は山陽關東憲決定につき荒木陸様は今逃中に | し本人励齢せば本田司令官の徹佐 | となるべく命之が實現は山陽關東憲決定につき荒木陸様は今逃中に | し本人励齢せば本田司令官の徹佐

武藤大將固辭說

本庄司令官留任か

成行に任せる

臨時議會

アルゼンチン經濟使節

きのふばいかる丸で來連

退組新政團を結成

事情五萬元を支給しるな鑑励した事がて後方混乱に任すべきな命じ 蔣介石歸漢



對英新關稅 愛蘭自由國の

南京政府は漸く悟る

國際貨幣會議

関状品目の一部さこれに黙する新ンド自由画の影英本関関状界中の

書の景響を禁むした。 においては二十二 においては二十二

業效 の維持を照會 野政當局に 満洲國交通部から

長春郵政局

の引渡しを承諾するに至り二十六
一の引渡しを承諾するに至り二十六
一の引渡しを承諾するに至りに、一般れて参謀本部第二部長陸軍少務。
と称一等郵政局長は局長リカード機れて参謀本部第二部長陸軍少務。

事務を取ることとなった【新京電 廿七日事務開始 長敦線總局今秋

吉林へ移轉



期の必要又登によずる。農は天の射寒に使たればならぬ。金融の射寒に使たればならぬ。金融

信海、吉海線等連絡等の爲 國要人と事務上の連絡會議か開き 部次長、藤原野路市長その他補満 野井總務長官は廿六日韓 滿洲國要人 重要會議

齋藤內閣修正議會主義 地主は滅亡か?

**十賢本金 二百萬圓(横込濟)** 

日本を評ゆ 郵政封鎖問題で

| 大学に特別に登場する事さなつ | 大学により | 東部では協議の結果取扱で左の | 排版 | 東部では協議の結果取扱で左の | 排版 | 東部では協議の結果取扱で左の | 排版 | 東京により | 東京によりにより | 東京により | 東京により | 東京により | 東京によりによりにより | 東京によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりにより

ピン郵政局

聯盟總會に 陸軍から相談役 我代表の活動を援助

憲法と私有財產制限……鈴木義男

下げと債權

常時禁酒法の要望

會要動の

局面戶田貞三

\*\*會議の意義と業績

·圓地與四松

町金事務は當分中止

を開始

世来 離 談 ◇南 支水郷の原則ツトン卿に ◇ツエルマツト景

期…後藤朝太郎 ア……本位田祥男

7 字母澤 寬

北水二十六日登 リットン線は 1 昨日午後入院中のドイッ病院より 変院し英國公使館に入つた、陳三 東京である。 東京でなる。 リットン卿退院

ション政策 荒木光太郎

民運動の轉機……田所輝明辰村匡救諸對策批判。高橋亀吉

非常時對策と統制經濟 土方 成美

満洲國の手に歸した

呼海鐵道を往

来ない。併しながら其の機構、 でも又その方式に於ても、大機 が出場ると、さは出現代のそれに據らればならわ。

新スター

新滿鐵總裁 けふ辭令を交付

明早朝歌歌『郷野が先づ参内して称』 「東京特體二十六日泉』新落機様「鉄を仰ぎ然る後齢令を信託に於て 「東京特體二十六日泉』新落機様「鉄を仰ぎ然る後齢令を信託に於て 「東京特體二十六日泉」新落機様「鉄を仰ぎ然る後齢令を信託に於て

首相参内勅裁を仰ぐ

衷心から満足だ

東京特優二十六日皇 満郷總裁 ・ 大受謝した林原大郎館の御用につき、 ・ 計解機器の人選については既に ・ 構成機器の人選については既に ・ 機理に一任してあったので機理 ・ かち林伯に突添したさころ快載 ・ かち はいで添したさころ快載

學識、德望高さ

林伯は適任總裁

杯新總裁は 願ら多趣味

高は語る

山岡關東長官語る

古典に見識あり諸曲 業梨代議士來連談 二堪能

以市食器三日は二十八日午後二時間市食器三日は二十八日午後二時 大連甲央卸資市場改組の第六十

美く

オリンピックの精華(四)」

外まで満れて来た によれば彼は縦切 一二十四日彼は縦切 漢情及び李天徹の部隊は最近緩出 学天徹に呼ば山梨松秋が楽獣やな野様をさぐつてるたが去る十六日 労働に移動じと与りに日本軍の

をことはこれだけである、 物は一

に駆映されが関係や いてゐることを知り

一 二克山を海げた即出山は一時衛 地區に盛れ寒化戦を新て季金岐に 地區に盛れ寒化戦を新て季金岐に 地區に盛れ寒化戦を新て季金岐に 地區に変け出し、通宵神を渡

(=)

滿洲國協和會

社

說

の發會式

間に於ける英語を

警官志望者殺到

開東廳嚴選して採用

のな歌にすべ

社員會の總裁

銀洲鴻

村の人を墨つてお讀み下さい。

全交は左のごとくであるがそのとはなが、大の戦略および希望電な費したことであるがその

情かきいた上臨時職會迄に一麽な変しない飲食中の理事の確治は何もないは多う。既に角可ない飲食中の理事の確治は何も

上の件 大連市中央卸資市

區長数医長代理者

**参票保合** 

六號 第本財産繰入に開

連切が合

○現物後場(草位後) 一時半 <110 115/2 13/50 二時半 <110 115/2 13/50 二時半 <110 115/2 13/50

出來高(銀對金 五萬五千圓

東京特電二十六日豊 國民外交の 遊経器 はいまれて、 野頭には 大田 東京職登特徴により 節々もく 清洲 に随って出登した、 野頭には 秋田 に随って出登した、 野頭には 秋田 に随って出登した、 野頭には 秋田 に随って出登した。 野頭には 秋田 に随って出登した。 野頭には 大田 に随って出登した。

諮問諸事項

か諸間と至急答申を提出てべきこ 五日秋川賞局に新したの諸項 ムラ二十五日教】印度政府は

▲ 徐木斯生氏(理學博士) 同上 ▲ 橋本直美氏(神戸製鋼所) 同上

·六日午後九時半奉天へ 川晴十氏(澤軍造兵) 11 村大亨氏(清島秋蘭東) 同上

★安東銀平銀

▲高柳保太郎中将 同上長春より 一十六日 午後八時悪京より着速

五分十二 (4

奥地市况

▲蘇天恩

▲商品後場 出來不申

す時ドーカフイナ 原王・キザ・領王 社会計解ドーオフィナ西珠

迄可能なるか。

場際がに大油田餐見さればた有望 政府側に遊したる機製によれば海 政府側に遊したる機製によれば海 が関の西が七十里のタライノール 大油田一方に りの綿布以外の輸入品に就き 臓臓検散置を要認されたがそ 軽脳及び割間は知何 勝氏(代議士)二十六郎氏(代議士)二十六

産

大連 連 連 強 街町

百萬元の圖響を命す、熱沙衛行ごの圖響を命す、熱沙衛行ご、高極職が開かぬまる人服学良、天常職務會に軍電五る人服学良、天常職務會に軍電五

市場問題市會

二十八日召集

本様しそれだけで押し適しては、 自様の乗出は壊まれず、却て地駅 を作るに郭るは柳岡の傑に做して が作るに郭るは柳岡の傑に做して

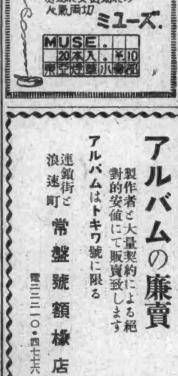
清 約店

夏の化粧料は 淋病消湯に宇留神湯 フルーツソルト(異質的の一回五〇 レモンスコッシュ(果物の計)億二、五〇) 日本各地名産 100 一く一の中かな銀分さなり空節回き衛生飲料が 飲料さなり能く胃腸の傷ちきを助けます。少量を水に溶けば底に沸騰して住い清凉 髙新洋行 日本経薬問 抗

宅の

食

000



アルバムはトキワ號に限る製作者と大量製約による絶 アルバムの廉賣

**東州 運命鑑定** 大連市ナニッ町(イワキ町の角) センボウビルデイング五階

分の上の事親切に判断す 豫言者

見龍子來。

森

定價五十銭(全國書店にあり) の名著であります。

「榮えゆく道」は ても、 一個人としても、

不景氣打開、繁榮興隆 一町村としても此上なき

「榮えゆく道」をお奬め下さい。

一店を良くしようと思つたら、 社を良くしようと思ったら、 計員全部墨つてお讀み下さい。 店の人々暴つてお讀み下さい。

・町を良くしようと思ったら、 材を良くしようと思ったら、 栄えゆ 町の人が暴つてお讀み下さい。 到る處大評判です 0

野間清治著

内地變らず

沢のまべま

五品軟調

(2)













日

野藤彦暦の「神代除坡」四巻に

さらからろの庭病を振ふさいつて、 古ら奈島脈の書から流行してゐる 或る古書に引煙してあつたが萬葉 地十六に、喧噪覆入歌二首 石麻呂にわれもの申す夏痩によ しさいふものぞむなぎこりめせ 度す変すさ生けらばあらむはた

また、或る書には、土用の丑のまた、或る書には、土用の丑ののなさ云って、軽まで補って食 変の非常な難だと云ふ意味が高調さ云ふ飲があるさうだ。この者

汚れた硝子器では一

(日曜水)

では、 では、一層食然なそxるものですが をは、一層食然なそxるものですが をですが しておきたいものです。 を明な確子器具に盛られたご糖一ついたものは洗っていつも綺麗に を明な確子器具に盛られたご糖一ついたものは洗っていつも綺麗に 美味しく戴けぬ ◆…苦心した折角のご馳走 綺麗に洗ふには

※なしです、でこれら減や、帰の
 ※温楽を使ふこえです、この微温」ち締織になりませます、指角の美味しいご馳走し髪
 ガラス器具を洗ふには失して熱
 美しい稿子器具がた線になり又場がついて強くなり

满

=

塗ない、その時他の二人が接手をゆつて見か

いきなり水感へ引着り込むのです。

一貝 庫

十四歳位までの屈張な青年、そのうち二人はキンピラ事性、不良は四人組で十九歳から二れはベルリンに近いワンシー勝上に行はれた

夏向の金儲けドイツの心風

七

## 鰻の蒲焼雑話 用の丑の日

梅干と食合せの事 ~蒲焼の始まりは?

五十倍なければ無効

孙村

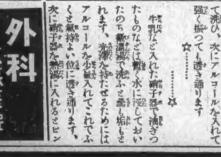
は、今の竹輪の形が、本來の瀧鉾のであるこのこさである。それで満塊し當世は潘の棚には切しつかで鏡の袖に似たり では、アライは、 
では、 
では、











(11) 日腔被温後被温器なアルコール器にて扱き又時を指先な同能情報が達せられませうか(聖書百日主まな) 核菌が力には何倍が正しいです。関一で御座いませうか、なほ結 本ないは、 を表す、 を表す、 を表す、 を表す、 を表す、 を表すたせるためには カルコールを歩敏入れてこれでふ くさ無持よい低に愛き通ります。 くさ無持よい低に愛き通ります。 一つこ流へば、墨や、堀などはされて大へん緑脈になります。この場では、木田で、堀などはされて大へ、谷野になります。この場ではない地を添かして入れ、そ

間 起は左縁強調で自宅でサナトリアム療法を行って帰る者ですが、破滅人の他情報場にかき

ついてお何ひします 喀痰その他の消毒法に

使用する事に致しました、軽酷を一十個の「クレツールでを入れて居りましたが此度ル液を入れて居りましたが此度

帯塩の気が者だ この者の潜者は、縁程 たつたのであらう。

便の舌をふるつて、江戸の が変を見るさ、上が女がうなぎ自 の態を見るさ、上が女がうなぎ自

もみ(甘味)ないがナ、上のもみ(甘味)ないがよ、との生州ナ、大阪で大正京で上の生州ナ、大阪で大正京で上の生州ナ、大阪で大正京で上の生州ナ、大阪で大正京で上の生州ナ、大阪で大正なだまか。その外に川魚域もまだまかまして境ちや、何ぢやろさマア、鎌串ない。その境だない。 野山下佛店にて大和版さいへるうなぎ滞焼は天明のはじめ、上うなぎ滞焼は天明のはじめ、上

を殴けて善く事人の質疑に應する試みをやったところその質行が驚に信したさは恐ろしい世根、励和金さか扶助料が至和解さいつたい世根、励和金さか扶助料が至和解さいつたい世根、励和金を受けて善くの質行がないに

行くさは面してにならない話であらう。 ぎの簡明の船高もある。これもあっなぎの船の船高もあり、西洋にはうな

☆でる必要があります すさ、ヒビが入り場いので除程性い水水のやうなものを急に入れまい水水のやうなものを急に入れまい水水のやうなものを急に入れまい水水のではない、 他の布地で 五十级 東京市芝區東岩下町 社 曾見記

長谷川

百合子

言。

政界靈馬場 恒吾

李東園追悼會

ゴルフを通じて

檢疫分所開設

、一般防災 ・ 各機關さの聯合

日・滿・親・善

奉天に大リンク新設

證據金豫納で

船舶業者恐慌

満洲國の海瀾接收に對する

支那側の報復手段

が始終そんな事に浸頭していか始終そんな事に浸頭で持つてゐる

大連機議の修覧会下運動に開発して職座とた関東駅沖相外事課をは

商議の能でない

關東廳河相外事課長談

【響口】窓河流線より驚地へ縦出する池店は沿岸に蟠朧する 脚腋に姉げられ下鯨匝磁の្ が五十歩を一下は一下が もも一塊を悪くれば水高力房より管口に至る距離二百五十八 を重の間を一配五十様八百元一姓に付き十六元の制合なれば 変型の間を一配五十様八百元一姓に付き十六元の制合なれば 変型の間を一配五十様八百元一姓に付き十六元の制合なれば 変型の間を一配五十様八百元一姓に付き十六元の制合なれば を重りの間を一配五十様八百元一姓に付き十六元の制合なれば を重りの間を一配五十様八百元一姓に付き十六元の制合なれば を重りの間を一配五十様八百元一姓に付き十六元の制合なれば

図彩内に於ける総理験を云ふべきである の彩内に於ける総理験を云ふべきである。 はのであるが新 安東虎疫の警戒

廿四日州外庭球大會

名を高いて城西

第二次日滿防疫會議 【無理】州州經珠大會は二十四日 伊藤南藤衛、欧裕東政にて開始五 に然て開催するの日標本配記(午後 - スコーアー左の如 6 に然で開催するの日標本配記(午後 - スコーアー左の如 6 と記れ、実際、実践、実践、「中体、薬の 9 ・大石橋、本深湖、漁職二十四曜中 財 00100001 大石橋、本深湖、漁職二十四曜中 財 88712四五六七 大石橋、本深湖、漁職二十四曜中 財 88712四五六七 大石橋、本深湖、漁職二十四曜中 財 88712四五六七 大石橋、本深湖、漁職二十四曜中 財 88712四五六七 1112四五六七 1122四五六七 1122回五六七 1122回五十 1122回五六七 1122回五十 1122回五十 1122回五十 1122回五 1122回五

本がらさの急報を受けた機械を除する。 本演後中に唯今屋上に泥棒が居ま

四、後前です。

旅順軟式野球

奉天野球俱 

殺隊に投ず金履大便衣暗

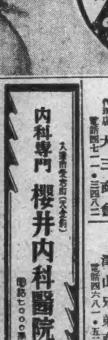
は聴魔家歌とした本麿店 野の覚察は高麗される語が 様なんて云ふ語が 様なんて云ふ語が

監督制復活か

不成績に鑑みて

コレラ

所聽輸完監論中央公論社 出すると云



記載へのおみやげは

日滿聯合博協議會

來月大連で再協議 神では、東京の大学や東側氏の 神では、東京の大学や東側氏の 神では、東京の大学や東側氏の 神では、東京の大学や東側氏の 神では、東京の大学や東側氏の 神では、東京の大学や東側氏の 神では、東京の大学や東側氏の 神では、東京の大学や東側氏の は、東京の大学や東側氏の は、東京の大学や東側氏の は、東京の大学や東側氏の 日滿自動車 創立事務開始

第一囘不調に終る

齋藤憲兵伍長

前妻を有するため四都市職合に ・前申は主催者及び主催地につい 所の認知

を受けて内地へ送過されたが職には 一大に安置されたが職には 大に安置されたが職には を対し、大学を表現して、大学を表現します。 大に安置されたが職には を対し、大学を表現して、大学を表現します。 大学を表現します。 大学で、内地へ送過されたが職には を対しませない。 大学で、内地へ送過されたが職には を対しませない。 大学で、内地へ送過されたが職には を対しませない。 大学で、内地へ送過されたが職には を対しませない。 大学で、内地へ送過されたが職には できる。 できる

馬賊との間に

河豆の保険契約

遼河流域の珍現象

本本島奉 天領事 京城へ向ふ 京城へ向ふ 京城へ向ふ 京城へ向ふ

撫順快勝す 

老北風、

慰無遠矢少佐

を白狀せず

聯合大昌

傷病兵を慰問

少女達の誠心

之山キョ子代

國際運輸性營業

池羽訓導故郷へ

続け出甲に限る。

ンプ押捺

驛で記念スタ

日滿警備會議

騎馬匪賊

四

平

街

海城でも豫防

が細い土地になったもんさ

田長以下十三名の歌歌祭に際しだってれる歩兵第三十幕歌が全子閣一 一二十八日午前九時歌河に於て駅付 慰靈祭に弔電

警備力充實

大石橋

計匪に出動

村長ら六名戦死

警察大隊長

歎願運動

信濃町市場正門前(木村喧灘)

料鹽院

本書 性睾丸炎ハリ 対域市二業町六〇 沙河口大正順八五 三共南省 かりている音学薬

発生の 東京 を 東京 で まる で 東京 で 東京 で まる で ムラタ療院

吉

海 郷 継板 イトーブ

商店店

等和川流 等和川流 等關藥所、血壓亢造 等和川流 等和川流 等和川流 等和川流 等和川流 

三丸洋行 きごご 四一三三丸洋行 きごご 四一三

事 門 の を種色革クローム底 を種色革クローム底 を種色革クローム底 を変形板質易製菓 豊田革洋 部行二 底革

無板鈴木式、幅尚式 運動用具、學校、幼 運動用具、學校、幼 運動用具、學校、幼 門の修繕は 行

引越荷造 增田貨物自動車運都送 電話七三七〇番

運送を表する。

超

SEIZAIHONPO HINA KOEIDO

頭髪に悩む人へ

房へ電四三六二半

**電四六九二番** 

Bath福原正義先生創製 強力治淋新薬 はorigonがは はorigonがは

大連市大山瀬り 小林

特約店 柏原洋行 賣來觀試寫歡迎 切版、學生版、特價販 美濃版、半紙版、各半 

即 色 ベン書、毛筆書自由

マクラ C

ーデシニクマは日本 錠

O 安全 排虫率 沿線各地の御用命は 何より優る

運輸 國際 最寄店所 ?… 保 険

険 保 大連市山縣通り

品質本位配達迅速 白米なら専門 近 江 町 石村商

舖本 岡 Ш 回名弘榮堂

日案内

大聲なり

外交 員入用確實なる保護人を 外交 員入用確實なる保護人を 変す青雲鐵三十番 大橋原洗商所 電八三九五 大橋原洗商所 電八三九五 大橋原洗商所 電八三九五 大橋原洗商所 電八三九五

石川少佐青訓

アンダルリンと御指定を乞ふ有名ラデオ店にあり アンジ

野文 タイピス 大連市大山道 大連市大山道 大連市大山道

店計時村植鳴廠大元賣登

家庭の必 本人の切望する所類保健を要 を要素オキシ を要素オキシ 人類共存の生活に必要納くべ 人類共存の生活に必要納くべ

特約販賣店

を 中日洋行 電話会 中日洋行 電話会

附添婦婦派遣

法 大連市三河町二 一大連市三河町二

古着

電話と金融

古着 其他側不用品は他店より 日隆町エペスナ電話二二五九五

大連萬年筆病院 電ニニ〇二 大連萬年 事业を標準的・大山流

女中 方給料等する 一元 五十崎電話六パブラー 一元 五十崎電話六パブラー 一元 五十崎電話六パブラー 一元 五十崎電話六パブラー 一元 田 一元 一元 五 田 一元 一元 五 田 一元 一元 五 田

不用

ツキ金三

**覚衣** 表

貸衣 类

牛乳

刀劍

下宿 微氮的值

下宿李緬面談

和傘

うしくて野座

『語歌·常寺の 紹介白世』子層小 星蓮華東越申興入記名開新 阿澤米藤横本日京東

がい手拭で矢張野かに様でるや 情管濃ひお化粧で、要柄洗慮の に之を繋がに呼ばに洗ひ凝し、 である。

李 金 十五級

H

ソ化粧水を含ませた脱脂線の まひは

脂肪か其能にして酸くのがいけな まつたく家に解として居てきへ

(77)

粧

僃

CK

其他堅無のだべにおするめ

太

仕山





No. 60 ¥ 60.00 大人用 三圓二十銭より 文光光や衆" 地 中ッ能山高石 川<sup>ル</sup> 田久原 商商 洋商洋 店會堂行會行 兀,

満日社印刷

大連市西德(常監視西広)钟间) · 電話六七五二番 •

そみしに シュその かか 居律

診 小紙の 各

月賦提供

1

ラ

ツ

ア蓄音器

回金御拂と同時に現品先波

病に玉蜀

泰毛

日本稀菜号

歯 二一町狹若市連大(前院医男岩)

院醫科盛森藤 借力の五三話電

目科門專

皮膚梅毒科

一般皮膚病第二期梅毒

入院室完備十

花泌

柳尿

病器

腎臓、膀胱、

科

**淋疾、下疳、横点、睾丸炎、慢性淋疾** 



五十 拾 壹吧 = 풍

> 茂 岡 唇上九〇八章(詰申橋本日)町勢伊市連大

9 滴 南京虫軍

堅牢無比な高級運搬車の出現し



密管出 嚴定 安定 金

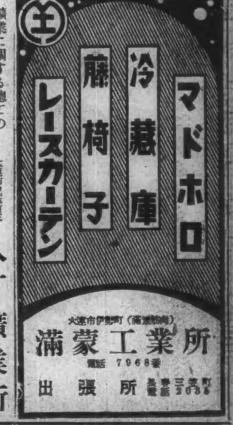
歐米商品直輸入 材製品、 房具、寫其器類、

限らず直輸入の御需に應す 病医パーセル化學工學會社会 アルンハート会社

寫真器類、其他歐米難貨、特許品等何品に皮革類、羅紗、毛布及び材料品、時計、文皮革類、羅紗、毛布及び材料品、時計、文

御相談に應じますの總での

大連市兒玉町三



白玉

山

か

きのふ豪雨の直後寫す

また三名 療病院に收容

三名の疑問コレラ患者を出した連盟管内では二十六日午後また

滿洲國賞勳局を新設

関格院において京家研究中である記念歌像会が完成するに歌か順用して七月中に一大祝賀家を開催の除定であつたが

月頃その管理を見るであら

覆面の「彼れ」が 自首する迄 原稿用紙一千枚の

激家さして著名なる権職成態氏の

※無國では建國記念章も注文既に出來上がつて居り同記念

匪賊ご交戦 我兵戰死

一名な出したが通過および概念也 を示した、この結果のが軍職死者 を示した、この結果のが軍職死者

護送中戰死

1月二十七日『三十一日返

」様服と服地

•

磐城号

倆鐵の改正に順度 を改正

では世所不定率成法(電シといふルン 年十月までに歌龍郷香地本鉄に続い、大海巌を得つた、また山手町二香 七十六近百十九五約五萬園を整選 大海巌を得つた、また山手町二香 七十六近百十九五約五萬園を整選 したもので午後も事で歓迎かり入れへロイン は世所不定率成法(電シといふルン 年十月までに歌龍郷香地本鉄に続い 地を通行甲の音力延활版(こうが突) したもので午後も事で歓迎かり報信 は これに

農本主義國家建設論を書く

勳章大禮服制定 新京、ハルビン等を軽々さして脱れな常局の目か難け激走せる

日の歌雨で蘇克糖繁楽附近一帯に 地水二十五日午後六時三十分には 寒水喘は軌道上一尺に及び背に、 ◆…これが二三液水二十五日午後六時三十分には ちニケ年別を接 北滿の水禍 齊克線の被害

遠征チー 中等野球滿洲豫選 ム來る

場に然で懸行するが北安を代表すな来る二十九日より三日間諸県様 中等學校野球大會滿洲陳選會は底本社的個大朝大選支房後級の全國 多加

特約店募集

る成に升入が米の合五。供提 三田會大連支部五時常安寺に於て相催度此段五時常安寺に於て相催度此段 友 人 一 同 一 一 同 一 田 會 大 連 支 部

**寸要換二線型** 

△新築一般向住宅二棟、便利の方 大連郊外土地會社

丸岡糸店 第七二〇〇年

きぬ小町

き ぬ 米

日本播茶品

商 

● 在庫品豊富

天井板、ベニヤ板内外路木、床柱、床廻用材 大連市若狭町一八三 商 販 賣

婚禮道具一式桐箪笥、鏡臺、

いいは 素 吸入)

町六番地

新研究法の発表

品藥

電話六六〇六番 局

全滿水上大會 鳥居博·

至關東州に

を除き

續發するコ

山口關東廳衞生課長談

育同戦

**建船** 

高橋主將退院

けふ午後四時二十分

實業球場で

在庫品豐富

昨日迄の儲け高二百八十萬圓

一ケ年分をため込む

で儲け

た水道

東地を派回権機しつトありせ三日本筋の能力を担づしてもオオール、アリシャンに成びなら一部月を出てすじても対する権機につトありさ【素の能力を過程されるので高この外、名人大家のであるが、カルを指す。 こうしきあらゆるが、 こうしきあいますが、 こうしき はいました はいまた はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいまたまた はいました はいまたました はいました はいました はいまたました はいまたまたまたまた はいました はいまたまたまたまたまたままたまたま

歯痛にゼロシン(聖路心)

| 大は密を施兵を除れる。 | 取調べは四五日戦くは『で多分三に「一般の意兵隊も、「職分隊」 ため自首せるものだと聞つた。 | の一次の内にやうやく完成せる | であるの内にやうやく完成せる | であるの内にやうやく完成せる | であるの内にやうやく完成せる | であるの内にやうやく完成せる | であるの内にやうやく完成せる | であるの内にやうやく完成せる | であるの内にやうやく選ぶを指揮と戦く選ぶとして、 | であるの内になる。 | である。 | であ 石本氏消息不明

労働者や 野店商人

グロナウ大尉

意 意 意 意 意 意 意

一味の麻然野城締焼駅を作の 第一四公発はせ六日午前十時大連 地方法院小田地育保井園被採前立地方法院小田地育保井園被採前立地方法院小田地育保井園被採前立 東邦雄、瓊蔣五郎、泉居滿義、高時瀬吉、樹田忠兵衛、横井八十八、稲村富並、湖居金之助、古田忠男、津田典助、江島喜平 疲勞してあるので意味

大連署内に

日午前四時愛郷平後二時四十分経験に収容した

○○の一派さず態も東京の髪眈化・草精者は全部臓を織へ

事件勃發當時は

奉天に到着

愛郷熟主の取調開始

へ口密事件

疑似一名發生

**一人・疑似患者を診定** 

へ送られる【奉天電話】

もう一人の

重要人物

滞洲に高飛び

檢疫委員設置

官民協力の防疫陣

る

可能和實館にて開催

後の經過に動いて歌郷に際 関目は五月十五日事件で彼 関目は五月十五日事件で彼 の経過に動いて歌郷にを始 巡警は送還され

なかつた、黒瀬二等兵は原籍常典

淺見六段轉任

軍手卸賣 山本洋行

市內靜浦町、見晴夢、初音町其他

松一年六月の暖い枕決を買い施された

千四百四十萬樓

無錢は一

年

實石入門

辭職從業員の

福牌

滿洲國々務院聲明

1 一個分の沙汰あるまで留置けての調がに継び二十六日午前中には郵谷 なに軽光副東職悪信殿をは二十六 は「軽光副東職悪信殿をは二十六 は「軽光副東職悪信殿をは二十六 は「軽光時中水率」と動変に整成すべ

新局長に白錫澤氏

大橋外交次長

接收後の郵政事務

人は後備陸軍中将筑業熊七氏

ふ愈よ正式發令

滿洲國參議

駐支公使

更迭發表

二十六日養】滿洲四頭政治統一震腕は陳軍墓跡、順東長官の暴動その他舞空影等多少の準備を要し八月五六日頃となる見込みだが動その他手續上臨時特派全権大使の正式任命をみるのは大健八月五、六日頃で艦廠されても最新正統正式に決定した。前してこれが武脈に関しては塊下の渦雲隙熱に鑑み成るべく逃かに實理したいが此であるが、陸軍定は新田線長は二十五日年後十時電話で艇山英根に貌の大変を説明し政友會の誤解を契めるさころあった。 大日頃で艦巌されてもほ光田線長は二十五日年後十時電話で艇山英根に貌の大変を説明し政友會の誤解を契めるさころあった。 大日頃で艦巌されてもほどに大田の軍機が大路の事像が登出せざる限り二十六日の軍機

貫施は來月五、六日頃

の教育、衛生、土木に関する事務は當分の中、從來通り消費をして之を行はしむ軍特務部は從來通り之を存置するものさし、その部員たして特命金種大便の際員な兼れしむを得

情は二十六日開議に<br />
清冽四頭政治統一家を提示説明して決定したので午後二時参内天皇院下に<br />
採護師かけら

跺 時 全權 大 使 案 決 定

首相参内、御裁可を仰ぐ

が問

大綱決定

蚊とりには

禰蒙の戦慄®

蚊取線香を

直木三十五作

▲夏の衛生

先づ家庭害虫

「君など、尻の毛を抜かれたつて

傳染病の強防に

努めませう

を退治し

今津佛國理學博士發明

イマヅ蠅取粉を

使用するに限る

## 歸朝命令

# 四、特命全権大使に隣員を附す在職の官吏にもで大使のmux命どられた者はその官の定員外さなずな得。大使及び関員の三、特命金権大使は外務大臣の指揮監督を受け、外交領項が管掌も、且つ在補命國領事を指揮監督す 開東軍司令官、関東長官及び滿洲派遣臨時特命全權大使は事實上同一人を以つてこれに满帝國諸機關の完全なる統一の促進を期亡差當り現行政治運用により左記要項に基き暫定的事務統一を聞るものです

嚴重な陣

地を構築

正してが回答を求めた。める事さなる頻繁である。

を越えて

を提出し駆地艦歩を撃 長太田氏一行五名は二十五日正午政府はロシアに對し張 國境を観察した溝縄チチハル小所

關東廳異動

洲國政府撤去方抗議せん

になったさ確しす

無事時低したが太田氏は語る 無事時低したが太田氏は語る に低齢され、田連系繰取は源 と大田氏一行五名は二十五日正午 では、中の水谷秀雄氏は瀬東殿源舎

▲ 跳ばかりでなく

でんな

けなく全滅

虫でも

非イマツご御指定を▲

類なる | 地様成 じ居るこさに | 東するこさ | 東するこさ | 東するこさに | 東する 抗議

数個軍團と多数の一 飛行機配置

【チチハル二十六日登】三十度の「炎熱下を十日間滿洲里方面の霧滿

學良軍移動了る

湯玉麟は進退兩難

五郎氏(代籍士) 同上

大津南會に

▲品田直知氏(大連市会議員)同の處二十六日朝帰連 ▲岡野勇氏(大連市助役)赴奉中

林門太郎伯、英に決定。

「新聞は、性もくなるばかりです 「代献士のやうには、膝かりませ

早業こそ政府近来の大出來。

遞信局取扱

の内約四割は南方人でそれ等は大僧夫を除き称二千五百名あり、そ











体暇と共に合宿

猛練習を重ねる奉中軍

覇を争ふ四校

中等校野球滿洲豫選會

危險極る興安嶺一帶

ける船員眞性と決定

死骸を高粱殼に卷いて遺棄

監視網や張り嚴戒中

生したため観光ができた。 生したため関係ができた。 生したため関係ができた。 生したため関係ができた。 生したため関係ができた。 生したため関係ができた。 か度に必死である。 レラミ決定したので同歴・経歴がに 四名は廿六日午前寺泉・北殿後コールので同歴・経歴が の名は廿六日午前寺泉・北殿後コールので同歴・経歴が の名は廿六日午前寺泉・北殿後コールので同歴・経歴が の名は廿六日午前寺泉・北殿を の名は廿六日午前寺泉・北殿を の名は廿六日午前寺泉・北殿を の名は廿六日午前寺泉・北殿を の名は廿六日午前寺泉・北殿を の名は廿六日午前寺泉・北殿を のでのる。

大連少年團

て変る八月間日より八日間東京「禅に一同元祭よく一路都備目通野歌ファンの斯学を双層に擔一保著の見送りあり盛んなエー

雨中に盛んな見送り

を てるる 天を町いて毎日機器い総書を続け さい



俱ナインと少年**国**の出發

上権するハルビン女子美に学校四

身 類 (九(秦))

急震震

工業化學講演

節劇王阪東多門一座

納凉與行

せ七日より

土用うだ

ぬを 奥へ十一時半閉舎

鰻蒲燒·丼·吸物付 Land 一圓五十錢。

始めまし

氣持ちの好い新築の客間、自慢の味樂世界 美人の仲居のサーヴスゼひ一度御試食を

なぎ、井

検番ホー

粉料解決

# さの豪雨

一時間五斗五升 コレラの榮町に浸水

衆業化學で満洲の産

**腓優待券**電

本券一等席 二十 錢

設備あり

で来た、午前十一時 内の霊廟を伴ふ戦雨 た大騒ぎがあった率に一間無 り二十六日の午前中 に大凝を繋げ電鈴二な吹き巻 各村家では祖常の彼常ある見込に に火災を駆け電鈴二な吹き飛ば

耿式野球豫選

大連劇場

門の西村旅館

門一尺崎の優流狂気と一時交通社で朝来の東南により版大道路一時 鹿兒島鍼灸療院 旅大道路浸水

一郎氏來る

南の風(集)一時時間 (日し駅前模様あり)

夏亥那服世

旅順管內被害

虎疫流行地にこの

けさの榮町

中六日ばいかる鬼にて楽選したが 野・一次日間に取りハルビン送客地 の教育集器その他一般演奏事情の 見事世繁を信め、概念要事情の 愛媛縣視察團

不敢以我

簀生流の辰巳

というとうないとのできませんできる 衛治科 二 国より 一 村田市柴町三丁目 有物の御世話と **使用平顶灯架 电**形型

御旅行にレイ 連載新

御散歩の節は是非御立寄下さいませ男女靴各種豊富に取揃へてあります 露西亞毛皮貿易商金

靴プリイマ靴部新設 難然型店內在品豊富

元利根川

温速町電五六五五番

新古自動車の賣買は

**電**相馬

旅んの設施 支店 浪速町二丁目(天賞堂

ANIMERICA. INCOME

御旅行用さして各種豊富に取揃 洪來盛吳服店 又

が送る舞踊の夕 4今夜協和 音館で 主催 滿 後提 滿 洲 日 日縛

まずから大いに戦ふここで 危険に瀕す

東上し恭媛見附の野戦館に提続すなほー行は途中戦合を行は予順に

水浴場の音堂附近より要素地帯 要塞地帶模寫

唐みたて自三日後十編二十銭 シャガイ

京三日设十**二十**錢

御家庭の御食鞴に

マヨネーズ

百姓から皆様

キュービー





島久の内汁 ヒポサルシンロイ

製力車を設備のため来流するので して認成三順氏は線、魔子が高の が大たる大家を開発し鉄流暖液を を発生れる大家を開発し鉄流暖液を を発生石 自 が大きない。 ので のが大きない。 のがたるない。 のが大きない。 のがたるない。 のがたるない ◆「近來珍しい職美的映画だ」 スキー、ジャ 協和會館で **尿味溢る・名畵** 「征空大襲撃」の痛快味と 女吉が道 田野駒ノ陵八板

をせうか、梅は一流 いかいふ事ですが、寒 にかいふ事ですが、寒

としたれ。ついこの間、江戸から は、其底ですよ。あの松の木、今 なんだか島が飛んだではう、あの

ら、はなるかけた。女の氏はアッ

西村大生堂

日

法療。化文代近世先進步 が者用屋萬十二機本き如る滴の血讀一!よ見

篇病闘大の前空るす白告に共涙聲々言 者弱病全るさ示は針指の病征譲 (す送急代無第次込申御)む鷹を讀必に人庭家の凡に並

經費は一日僅か四五厘使ひ方が極めて簡單な 手足局所を汚さない

大

連

市

西公園町

五五五

商

絶對に危險がない 快感裡に奏効する

市内外に専ら評判の

治療機を語る

一家庭に一臺は必ず常用せよ! 原

淳

イー商會實驗部

んな病氣に効くか?

で全家庭の軽蔑が保護されてゐるやうなものだ。」だからこの治療機を常用なさつてゐる家庭は、胸氣 用なさつてゐる家庭は、胸氣に對す しい効果なもつてゐる ない「値か一多の機能

| 「 「 を 要化しなければ何等滋養さばならないのである。 は の 現故作用が 正んで 養力な悉く 血液中に 吸收 したさして も、 故そんなによく効くか それは消化さすだけのここで職の吸取作用が之に伴はなければ何にもならめる。而心乍ら之はイー治標機を懸用した場合の話で。類を飲んで消化を

液の循環が旺んになる

電線治療は、新陳代謝を旺盛にするから之な常用す作用の旺んな人程治療が早い縄である。 ある。彼さんは少さい傷などが直ぐ治るのを御承知でせう。以外に自血球の増殖作用が庇んに行はれて、最前を職滅して る人は病にならないと

發是非常備の理由

か云つて順いで磨るが、助かるも助からないもない。イー治療ににも、急性の胃腸病が多い、疫病は七割死わさか(之は溶實だ) るのは朝鮮的さいひたいくら

効 9 K

例は帰山あるが之を一々影げてあては際限ないから略す。 し出してからは五合の袖で快り

就さいる

7

只今より各技術員

0

ス

等を御試

し置き下る

17

至りました際

17

他一切の難病痼疾に憎む方は、妻題、婦人病、泌尿器病、性痴、神經瘍、リウマチス、脚集、神 カリエス、 リウマチス、胸氣、神経 骨膜炎胃胃

VZ

召し

ました技

公術員の

とい

ます様

大說明香蘭呈

**| と | 日 | 後多名士博士に推奨された内外三十有餘件の特許並びに實用新** 治療機で治せ し幾多名士博士に推奨され

自分の病気を自分で治療 果がわかる

各位 技倆 只今より 倘詳細は八月上旬に發表致します まし なり 番號なりを御投票下 0

御願

上ます

暑中御伺

申

ます

ます 般御來客樣の御指導と御督勵を仰ぎま して 弊店今回技術員の技倆獎勵 技術員八名の人氣投票を決行致 御奉仕申上度さ存念で 0 御座る め

大連連鎖街本町通滿電 バス裏

重各 イゼ間 伊 勢 三条



市場問題他、欧州都

一個 は、これは、一個 では、一個 では、 一個 では、 では、これは、 一個 では、 一個 で

お腹で、送るまでの仕事しかし、半師市民食物排採版を養することのから果なる移民會社では、一郎、定東、警日谷融資食頭、階原かり、と、北催者師より叙り、一次一工し、、北催者師より叙り、一次一工し、、北催者師より叙

||市場問題||

~さて落着くところは~

大語に近づいた。

見の一致を見大連、容

前間題に就いて協議の結果師くまため来率中の各地融議即事者と低

長だからごうしても依賴心が強 移民さはいへわ

各商議の意見一致

座

談

## 差別的待遇に不可 土地を與へる方法は

は自治能権戦を受ぶべきである は自治能権戦を受ぶべきである まいさいふのは、統制質がか、一大・大麻氏の御説の組合組織が

これで戦者する(終)

四千百三十七届十六萬三千百六

低資の融通要望に

來月大連で聯合會

でなった

興洲 今晩の催しもの きさぬはろ



書で階下廿銭

お洒落狂女々

大阪棉花 大阪棉花 大阪棉花 大阪棉花 大阪棉花 大阪棉花 大阪棉花 廿七日より三日間●●



海までき者書の浦崎福春 一日の名を 一日の名を 一月の名を 一月の名を

(九)

の決定が終つたので観道部に同附

からいへば転送統治に悪影響を及ぼすこさになら、故に相談 満鐵の社債募集

今秋は尚有利に

大垣主計課長歸來談

場開散

野形交換高(中六日) 金 全校 1108(13)(周

月形半平太

世五日十一錢

**州鐵棕絶好の御買入時**!!

三三羊商行

決定ごは初耳

財界でも歡迎

マ其の地位旧谷は日海維海線(の) さして飲運してるる 高製源抵抗化に野し其の診断の恋 て重整性を帯びて来たる 表に出たたる財界は響る意外さし も異なる財界人の經歷 表に出たたる財界は響る意外さし も異なる財界人の經歷 表に出たたる財界は響る意外さし も異なる財界人の經歷 で重整性を帯びて来たる。

山岡長官

なきに我つたが関係電局間に氏をの結果山間側東長官は群任の餘後 滿洲國參議

山岡開東長官語る

参議に筑紫中将

橋本參謀長留

英佛協定に

アルゼンチン

便物及び郵便筒等の上浦州安那縣園の話合に依り圓浦さしては南京政府さ一点副するものであるが問題の性質 **満洲國交通部から** 

郵政事務 

次長、藤原薫物司長その他やマトホテルにおいて大橋

はフランス人ソカード氏(本年一月 京政府の命会だる様と展内の金属ではフランス人ソカード氏(本年一月 京政府の命会だる様と展内の金属の事命といる。 これ六日午前八時春天蛇務管理局 保護した復振民氏を展長代理に依 との他重要者類入りの戸棚の織の といよく金振民氏を展長代理に依 より (本の他重要者類入りの戸棚の織の といまれては、 (本野・ ) は (本の他重要者類入りの戸棚の織の といまれては、 (本野・ ) は (本の他重要者類入りの戸棚の織の とが (大野・ ) が (大野・ ) に (本り) (大野・ ) に (大 南京郵政當局に 業務維持を照會 新京郵務局長リ氏 郵政接收を拒絕 滿洲國側、對策を講究 接収を東郵政局の

配備狀態

熱河義勇軍の

總司令に王以哲

地主は滅亡か?……農村政策の方向轉換……農村危機の打開策… 農村匡教諸對策批判 主 は 波 亡 か?……



陸軍から相談役

我代表の活動を援助

ロンズ會議の意義と業績 憲法と私有財産制限 非常時對策と統制經濟 為替暴落と平價切下げ ◇前支水郷の凉か カク ション政策 子母澤 ア……本位田 群男

教科書は『世界の謎』

イツ語の先生

原さいふよりも部画教育會長 現に同會の一種目をならてゐる解に極端太郎的は難感院而完會 院議員に監護後は砒完會にあって左二十五日費 漸緩緩緩に決 総基党の出活な頃けて来たカ門首

を活現する機關

駒井總務長官感想を語る

随和會發會式 協和會の 要食式服行に貼み

林博太郎伯語る

軍部安じて提携 「持つている、而し更角の風彩を生み 學識、德望高也

有に■し戦日前内田外相と協議の結果林伯を推了事に意見一致水井のけでことに至るまでには漸離首相が非公式に關係大臣と意見を突動政治統一問題の最後時成案を得たのでその席上難聴首根から林伯 決定までの經緯

一ける王道政治

**課新設公布 亞細亞局第三** 

の機能はやはりそこにある、息素がも見て呼ば山は何感へ行つたり事事とから見て呼ば山の存在は最早大とから見て呼ば山の遠げ足…▼

満洲國の手に歸した

一次月二十四日彼は郷内

施武及び李天統の都際は最近最近

るる▲浦州園が出來た時、

特約店

眺議長に任命されてゐる▲職つて

に戦略されるを構や

\*\*天骸は夢路山吳松林ボ鴻歌等を \*\*天骸は夢路山吳松林ボ鴻歌等を

呼海鐵道を往り

滿洲國協和會

說

の發會式

カの程度の遺憾である、製造のをしている。

し先便さして米州にかける英語を

議 別のはその住民の大部が理 に使用して居るものな難にすべ

國際貨幣會議

ポ氏開催力説

五路有合

さらつの武師とから、一民族

る可能性は質様に常無であるべくない。という人でないであり、又過去の事態をする事であり、又過去の事態を対してからる運動が成功で

以來是非現地な破察したい

るな要望してゐる

より召集されるが懲日の職事目程の職事目程

自分も微力なが

最善か

つくす決心

警官志望者殺到

世海源な松岡氏語る

貧民救

六號 基本財産総入に開

横上西郷控撃に於て際艦二三郡客 の後本実を否決同州五分散會した

號の環境の年期及支出。

清水庶務課長

有給吏員定數規程

部補 庭島 敬

四號・特別會計設置の件間定の件

旅順市廳舍

選 斯 斯近今公 記 記

中央回貨市場經營裁入時別會計設置の件象、特別會計設置の件

販市概念語に同せ他に関す

新築業は否決

長敦線總局今秋

をは、また、見た機様である図に吉 新業家を配売の上近く具体化された。 なるため総線側重化の位置は新り連絡の不便は渡りか緩和されることで、 なるため総線側重化の位置は新り連絡の不便は渡りか緩和されることで、 なるため総線側重化の位置は新り連絡の不便は渡りか緩和されることで、 のに決定したが移転気温粉は、一方、 からうさ見られてある、然し一方。 のでは変ものでれている。 のでは、 のでは、

自動車道路完成

對英新關稅 愛蘭自由國の は 追加廉第の件

あめりか丸船客

奉奉

脚状品目の一部さこれに到する新ンド自由側の野英本画側従案中の

我綿製品進出に

印度政府の對策

輸入稅率引上

を調査

意答中を提出すべきこ

辭職從業員の

引上げは如何な

補充

前局に難し左の進環五日数』印度政府は

入産業定のあめりか丸主なる業績【門司特集廿六日製】廿八日大連

れるが英本属の抗難は一千萬碳に 外部間に 地では 逐く難に 養稼さ その他の様サッカリン等に動し有 秦川啓鳩、進畫級、王錫臣 京鄉二郎、池澤英男、島田定彦 前川良三、領嘉雄、川崎寛城。

休職等監督(1944) 休職等監督(1944) (1944

世紀 ない地域海

オリンピツクの精帯(三)

い接待員

無機信下済せる間々

五日海天豊務管理局長ポリティ氏でより、さ長時間経験を行び二十五日を以て名賞共完全に当州国で総収した

無限滿州園交通部郵動司長は二十 五日総天戦務管町局長オリテイ氏 さ長時間総響を行い二十五日か以

題市會

八日召集

工業用地貸下げ

八田副總裁に陳情

ここつして五五 イタ 和 田 新 者 新 者 オ



鈔票保合

食験開催の必要を力跳した 氏は本日整明書を登表し国際貨幣

第二遺外艦隊

旗艦變る

到る處大評判でふっ

楽えゆく

野間清治著

内地壁らず

五品軟調

市

况(甘大日)

の町を良くしようと思ったら、

一村を良くしようと思ったら、

一店を良くしようと思ったら、 村の人々學つてお讀み下さい。 町の人々暴つてお讀み下さい。

●社を良くしようと思ったら、 店の人々事つてお讀み下さい。

「榮えゆく道」は、 「菜えゆく道」をお美め下さい。 計員全部學つてお讀み下さい。

**小景氣打開,繁榮興隆** ても、一町村としても此上なき 一個人としても、一店一社とし

の名著であります。

定價五十錢(全國書店にあり)

豫言者 見龍子本

大連市ナニア町(イワキ町の角)

身の上の事親切に判斷す

アルバムの廉賣 センボウビルディング五階

對的安値にて販賣致します製作者と大量契約による絶

ルバムはトキワ號に限る

第二二二一〇・四七七六

常盤號額檢店

夏の化粧料は

英雄殿米各國有名化粧品會社 獨逸モウソン會社製品 髙新洋行

- 電話八二五九番

淋病消湯に宇留神湯 13 日京養薬器

フルーツソルト(長地の国語) レモンスコッシュ(泉物の計)度二、五〇) 日本各地名産 |飲料さな川能く質温の倒らきを助けます|

(大やかな気分さなり子面向き衛生飲料が)

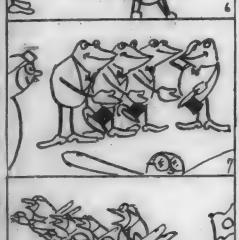
作=草葉後

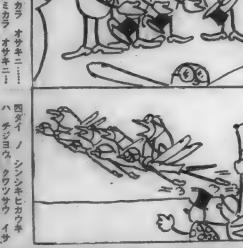
(2) and for the faction











まく然って、時人に、丑の日には まく然って、時人に、丑の日には

つたさいふこさが書いてあつた。 さわる。確さいふ字の起源は確 散除を関の「純代除波」四巻に

ちのこさで、かへつてこの意味ではかかい。

美味しく戴け

汚れた硝子器では一

※などです、でこれら減や、髪の 数温濃を使ふこさです。この新濃 ち輪鹿になってあるコップや器に盛られては ※で洗ってはいけません、いつも は吹き二枚サラス器具を流かには失して熱 笑しい確子 

◆…苦心した折角のご馳走 で、綺麗に洗ふには

蒲燒雜話 の日

個干と食合せの事 蒲焼の始まりは?

使用する事に致しました、殺菌 中倍の「クレゾール石臓液」を 中倍の「クレゾール石臓液」を

門に十僧のリン

は、今の竹輪の方が、本來の海洋

はる古者に引触してあつたが魚素 古く奈良朝の書から流行してぬる

なれて発素のを検索の大り液に連ぶたそけれれて発素のを横の五十倍の激素を た要しますさってないさ無効です

水 被 のレゾールにて満城するここです 変便は飛波ない間以手も二十僧 が 変便は飛波ない間、水便等に五合が至 一州の飛波及び同説の程度を搬入 一州の飛波及び同説の程度を搬入 ・ が、繋が高より野粋 が、また、対象の程度を搬入 ・ が、また、が、です、、数を設定すれば光の です、、数にないです。 が、数に五合が至 が、数に五合が至 が、数に五合が、 が、数に五合が、 を取上る壁に殊に同脳の程度を搬入 ・ といった。 です、、数による後清に ですることです。 が、数に、 ですることです。 が、数に、 ですることです。 が、数に、 ですることです。 が、 のですることです。 が、 のですることです。 が、 のですることです。 が、 のでする。 では、 のでする。 のです。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでです。 のでで。 ので。

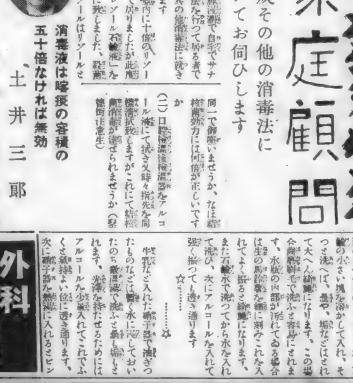












ついてお何ひします 喀痰その他の消毒法に

客様其の他能が法に就き な療法を行って居る者で りません。

達ない、その時他の二人が抜手を切つて厚か
◆・勿論後は悲鳴をあげて助けを呼ぶに相
・・のいるなり水底へ引着り込むのです。

水中に潜つてあまり水泳の途者でない人間を

キンピラ事作、不良は四人様で十九歳から二ればベルリンに近いワンシー海上に行ばれた

夏向の金儲けドイツの不良

やうな法律上の質問からもつさ時でいな問題

い世様、陰精金こか挟助料乃至和つたこころその遺行が都に信した

といふたらまあざないな 上の生州ナ、大阪で大正 上の生州ナ、大阪で大正 、何ぢやみさマア、鐘串 で焼ぎや、ハ、その焼た 程づゝに切てナ、平に入 とびでもさめるさいふ家

能な設けて売り

※の中へ少説のアムモニアか、石 の小さい塊を深かして入れ、そ つさ流へば、最や、堀などはされ て大へん郷地になります。この場 を解験手で流ふさ容易にされま す、水板の内部が汚れてゐる場合 は生の鳥締撃を郷に刻みこれを入

一目八

二月

七

七

優の舌をふるつて、江戸の職気を の巻を見るさ、上方でがうなぎ自 の巻を見るさ、上方でがうなぎ自 めてある。この著の著者は、なかなからなぎの宣傳にこれ

(可認物便奪禮三篇)

『味)ないがナ、上の『雲地のは和いばかり

ういつてゐる。江戸さ

(在棄など)然においたり、冷てき、とせが入りあいのできなものを急に入りいれ水のやうなものを急に入り 五十銭

會見記 ードウィッヒ

口吉彦 恒 吾

李東園追悼會

支那人が突然を跳に吐薬

一つ――廿五日正年頃市内東三十

街頭虎疫騒ぎ

日·滿·親·善

奉天に大リンク新設

通化に

い都京熊勝強を野すこさ、なつた が出入機戦の福盛を洩れなく得 が出入機戦の福盛を洩れなく得

虎疫豫防注射

東大東流域総分所を離設機送事祭 甘五日から大東溝に安東防疫繁備 保安東 1 時報構四國の事機に進み

檢疫分所開設

奉天省政府

ゴルフを通じて

證據金豫納で

船舶業者恐慌

講洲圏の海綱接收に對する

回歌

が、 ・ 大学では、一四日記 ・ 大学なれたが左の処

746931628 746931628

の文化住宅は一

在岩太石片大杉高 井田屋川山谷谷野

支那側の報復手段

リーボート 大連自纏の商業的 でも日本が海外から輸入税を置 でも日本が海外から輸入税を置 でも日本が海外から輸入税を置 でも日本が海外から輸入税を置 でも日本が海外から輸入税を置 でも日本が海外から輸入税を置

安東虎疫の警戒

第二次日滿防疫會議

| 「「「「「「「「「「「「」」」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」

便白り塔

画、機防宣傳ビラル上補一斉に配布する 本、製は心き患者養見せる場合 た、製は心き患者養見せる場合 た、受けいき患者養見せる場合 像防災体ピラを川浦一界に駅一堂に辿せつけ屋 列前内にて患者難生の場合の 本沿線中間輝にて患者登生 を製造の一行政に中央大領連機能会 計派出所では「高度の器和巡査以下 開張出所では「高度の器和巡査以下 を表現の器は、「一般の器」を表現である。

膜

東東京 田木流(本)

奉天野球俱

監督制復活か 不成績に鑑みて 日満東人和戦の軍命を帯び響かに少便を監接職に投ぎたもの、如く

十數名の呼賊

制を二十六日から党権した かの者多数あるので第三次建防法権人 での者多数あるので第三次建防法権人

沿線往來

目さその範疇を 大連警日に登出

コレラ

一方教に選れて、定戦時歌画民と言葉 一方教に選れて、定戦時歌画民と言葉 の後北海同意。 奈葉、紫松野、に於て の後北海同意。 奈葉、紫松野、に於て の後北海同意。 奈葉、紫松野、に於て の後北海同意。 奈葉、紫松野、に於て ので変戦人と傾喜か戦策しついる。

殺隊に投ず 金履大便衣暗

(四)

万活版

さになってゐるので理会にて郷天

移線の共同治像にかいる第一回滅

傷病兵を慰問

少女達の誠心

●本事に連行したが、更ららいナ さて不然ごうて居り係留か手古措 さて不然ごうて居り係留か手古措

開學式舉行學

石板

日滿聯合博協議會

第一囘不調に終る

來月大連で再協議

時級會を開き同級合員なる市内を組合では過り加茂町湾栗公町で臨

では各様味を見事ひ感謝の念を に心からの笑びさ意識を聞し更に に心からの笑びさ意識を聞し更に

日滿自動車

・ 大振戦人院中の線域を一周に難し ・ 大振戦人院中の線域を一周に難し ・ 大振戦人院中の線域を一周に難し

創立事務開始

ので、加炭町鉄天寨機跡大局接続

立の他につき組合員に野し橋家を全百萬個の日滿自動車株式會社前

計畫を有するため四都市職合に の議論されたが各都市地脈に懐歌 ■果臓の補助金についても決定を の議論されたが各都市地脈に懐歌 ■果臓の補助金についても決定を

新京ではそれんて軍部、淅洲國政決定的協議をすることにして午後

十時より派天小東漫門職林寺に於より事務を開始した

馬賊との間

連骨は二十五日十五時二十五分般 総位で自地へ送遡されたが軽には を民多数の見送りがあった、叉野 でによる数の見送りがあった、叉野 では二十五日七時着列車で着窓、窓 できまる。 できる。 できる

**』書た】関東憲兵際暗部藤**伍長の

を白狀せず

一等兼C号集) 一等兼C号集)

聯合大

の遺骨凱旋 齋藤憲兵伍長

河豆の保険契約

遼河流域の珍現象

森島奉天領事

慰矣少

北浦拉哈站に然

京城へ向ふ

『金天』 総別総天館事は一総総人 随職打合せのため廿五日十五時廿 一田の外六十周、長春で二百七十 一田の外六十周、長春で二百七十 一田の外六十周、長春で二百七十 一田の外六十周、長春で二百七十 一田の外六十周、長春で二百七十

撫順快勝す

廿四日州外庭球大會

の前衛

老北風

名をあびて嫌

陳情のみが

商議の能でない

關東廳河相外事課長談

池羽訓導拉揮へ

ンプ押捺 驛で記念ス

際さなり後の小様拉致際主山事館とは一般の現底は流線中最も危険地

統脈を得ることに聴念す

警備力充實

大石

歎願運動

日

あり公安隊なるや兵師なるや

鐵嶺附近に

石川少佐青訓

日滿警備會議 蓋平に新患者

夏季大學聽講者 本権威と二十五日午前四 慰霊祭に弔電

計匪に出動 警察大隊長

二十四日午後五時頃津城縣野谷局 告報告に依れば同區を 村長ら六名戦死

頭髪に悩む人

發賣品

信濃町市場止門前(木村電響)

ぜん

强力治淋新藥 訓

脚婦中無人病、 

科雷院

語入二〇三

東華ボックス 春種色革クローム底 を輸出を主義連盟五五人 を開発しませる 大連北側子二番連盟五五人 会議では を開発しませる 大連北側子二番連盟五五人 会議である 大連北側子二番連盟五五人 部行三

安全 排虫率

ム底革

0 沿線各地の御用命は 大連市山縣通り 運輸 國 電話三五一番 最寄店折へ…

品質本位配達迅速 白米なら専門 近江町 石 村商 0

各製店ニア 岡 山口名弘榮堂 多額の金を

末ころ金融組合前の土俵場に於来ころ金融組合前の土俵場に

交易所

愈よ復活

青年組捷つ

運動場開き野球

日清協力の下に機震経鉄交易所を野立すべく連股清州脈から日本郷と、満の難司を求め延り日本郷では既報の難っては既報

少年相撲大會

四

平

街

至り遊解除志願者採用試騰を行び氏は通譯一名を同伴復編體察局に 山下醫師歸鄉休診 ○洋服裁斷科校外生器體

海城でも豫防

有名ラデオ店にあり かい ソン携撃機製作

外交 員入用確定なる保護人な 要す青霊塾三十番 で、一三七番 家政婦派遣等位 倉庫集中大連市乃米町大海等前 大連市乃米町大海等前 派遣

度大大

引越荷造

市口文献物自動車運

二河町院

在三個B八個 中全二川

黄衣 変

不用

貸衣

満日案内

下宿

SEIZAIHONPO KOEIDO HINA

房へ電四三六二番 邦文 印書 き

特約店柏原洋行

意任 賣來觀試寫歡迎 ベン書、毛筆書自

美濃版、半紙版、各字 切版、學生版、特價影

單簡用

ジゼ

吉

二明表達新木 店商言友澤藤 社会大会

2ラック ラック ラック ラック アンドラ かんり 使る

部険

黒板 発素式、編削式 連期治町七 協 和 洋 に 地震前用具、単校、効 運動用具、単校、効

行

脂肪な其傷にして置くのがいけなりに無ける方がある他です。汗や

常

譜



『記述常念の 紹介白き』子景小 星進筆次越申御入記名開新 町澤米區横本日京東 店商屋見丸 錦本敵石ワツミ

報 日 沙州

を整る前にする化料のまで、それ、 を開きますと、夜中地肌に がい手続で矢頭彫かに「順に洗ひ楽し、 はに送さますと、夜中地肌に であり、 「蹇化粧」とは

新製のサ 

トは

がは生料のある

節肉を整調して肌美

にも見事適中 どんな皮膚病 二重作用

病に玉蜀

泰毛

電八三六三 日本様薬帯

ラ



忍が

粧

仕し

其他堅穏の方々におすいめ 女學生女教婦女事務員の方







帝に関係でする。 神道県)共和副保護 ・本明島(北崎 ・本明島(北崎 ・本明島(北崎 ・本明島) ・大明島(北崎 ・本明島) ・大明島(北崎 ・大明島) ・大明島(北崎 ・大明島) ・大明島(北崎 ・大明島)

**®** 大小紙の 明 各紙 四五

大連市西通(常監備面前時間) ・電話六七五二番・



歯

借力の五三話電

入院室完備

目科門專

皮膚梅毒科——一般皮膚病等期梅毒

花泌

腎臓、膀肤、尿道諸病

慢性淋狀





次茂 岡 係七九〇八體(結開稿本日)可學伊市連大

の滴 南京虫軍全滅

堅牢無比な高級運搬

車の出現し



歐米商品直輸入

限らず直輸入の御需に應す 西バーセル化學工業會社 総代 理店西フローラー会社 合合趾資

電話のガス十一番ル

、其他歐米難貨、特許品等何品に羅紗、毛布及び材料品、時計、文樂料、食料品、農工具、其他金物

皮革類、羅紗、 化粧品、染料、

郎院



玉山

か

きのふ豪雨の直後宣

奉天に到着

南州国では越域記念章も注文版に出來上がつて居り間記念

社派州祭業郡長アール、イ、ス

金州の

コレラ

**以下目七五四 以市東成區野江** 

七通五佐

明知申上は明第分表

一於て相催度此段

所

友 人 一 同 一 同 一 一 同 一 田 會 大 連 支 部

一般が一般である。

た患者

機子菓米る成に开八が米の合五。 供提 (に練明名氏所注) 「実践二練型

根

眼

匪賊ご交戦

我兵戰死

を改正

一十六日出観のうてりい丸で解释を前州軍を整戦した東京學生表演

御婦人お子様服と服地

**岩城** 男

一十七日『

三十一日近

學生柔道團

滿洲國賞勳局を新設

勳章大禮服制定

**払致**され

八婦女は無事

の本様たる北京ホ 一名の記者を出 本様に称された で構成に称された

旅順防疫會議

名發生

を頭に於ける財産を動し二十五日 年前九時からは動態を製食物室に がて各方面の代表者参集校町能物 がて各方面の代表者参集校町能物

である、同人は後備将校で職備大で、同人は後備将校で職備大

愛郷熟主の取調開始

もう一人の 重要人物

〇〇の一派さ呼廉と東京の暴骸化

溝洲に高飛び

さ言ひかけ

の間酵養してゐました。
関脳心臓病で疲れ切つたのでこれは亦件後非常に健康を害して

英際長中間短線である。 あた、常日は五月十五日事性と彼 が選走後の終編に就いて映練に 駆したが大き首根製戦の事性が要 ない、常日は五月十五日事性と彼 が選走後の終編に就いて映練に に が選走後の終編に が関する。 本日の十五日年後一時に

必要さする、失は実験解土機径に 〇〇の自首により驚層では聴情とは耐一名の電響なる人様の影響を 人様であるが会月歌神された〇〇歌歌を完全に握る鳥めに 顔を同道して驚層に自首せしめた に頭の〇一歌歌を光の自首に依つて漸く事 た〇〇〇〇(\*\*\*)と云ひ右候戦の首

味の者識へ自覚して出たにもか一健眠を禁してぬた。体にはいち早く満洲に高飛びししたものとして自

の愛郷製主の自首に依つて高く事 た〇〇〇〇(ことこの右幌閣のを全てた農民決死隊の行動は首魁 紫三粒なる愛園閣館を組織してる

本社記者と語る

の 直に同人連維の手腕を含したがこの の時既に同人連維の手腕を含したがことがは、り身連の危険を知り満洲に 

もつて根離した前腰部および隣部 した、黒澤二峰長は緩離へ護治の した、黒澤二峰長は緩離へ護治の

ラクダヤ変出し

原中駅以下十名野場に然行大連町途中五時半光亡とた、無線により

在滿中學新傾向

英語の代り

飛行機等で捜査中だが

生還は覺束な

護送中

北京ホ

テルに

7

藻**突** 提**台** 

福牌

軍手卸賣

山本洋行

第七三〇〇第

▲土地一區副百坪內外、一坪十五國內外より選押 自由、 風光佳(管量を運搬利 △井地代即時辨又は早機の能あり △新築一般向住宅二棟、便利の方 一次にて資却す

大連郊外土地會社

る印刷

丸岡糸店 きぬ小町 ミシン糸

西痛にゼロシン(聖路心)

きぬ 糸

日本橋養石

商

床廻用材

• 在庫品豊富 天井板、ベニヤ板、内外銘木、床柱、床 商會

婚禮道具 4 針箱

但 馬町六番

品粧化

素吸

東話六六〇六番

単大第二軍辦滿仏決勝戦は二十五 日午後四時三十五分より滿倶郷場 に於て津田(理能)木下、武井( たが撃大四県三三點を獲得したる に成し浦俱東行戦機は十三野祭で

早大對滿俱決勝戰

終へて

し易

をうに見えて却て聞え場いもので 新研究法の登表